

## 1. はじめに

PDFNET は、フォルダツリーを備えた PDF ビューア兼編集ツールです。

ページの結合・入れ替え・回転・削除・画像化・注釈・スタンプなど、日常業務で必要となる PDF 操作を一つの画面で直感的かつ効率的に行えます。

本書では、PDFNET の基本操作からライセンス版拡張機能までを説明します。

## 2. 特徴

- 画像ファイル(bmp,jpg,png,tif)を PDF へ変換
- 文字情報を削除(画像化)、文字情報の埋め込みに対応
- PDF の結合、ページの追加、削除、入れ替え、回転に対応
- 自分の印影を登録しておけば PDF 文書に直接押印が可能

## 3. 動作環境

- 対応 OS:Windows 10 / Windows 11
- .NET 8 ランタイム:不要(self-contained)
- CPU:x64
- メモリ:4GB 以上推奨
- 必要ファイル
  - PDF.NET.exe
  - pdfium.dll
  - worker フォルダ(内部処理用)

## 4. 起動方法

- インストーラを起動しデスクトップまたはプログラムメニューに作成された PDFNET アイコンから起動してください
- インストールにあたり管理者権限は不要です

## 画面構成

PDFNET は「フォルダツリー」「操作パネル」「PDF 構成」「プレビュー」の 4つの領域で構成されています。

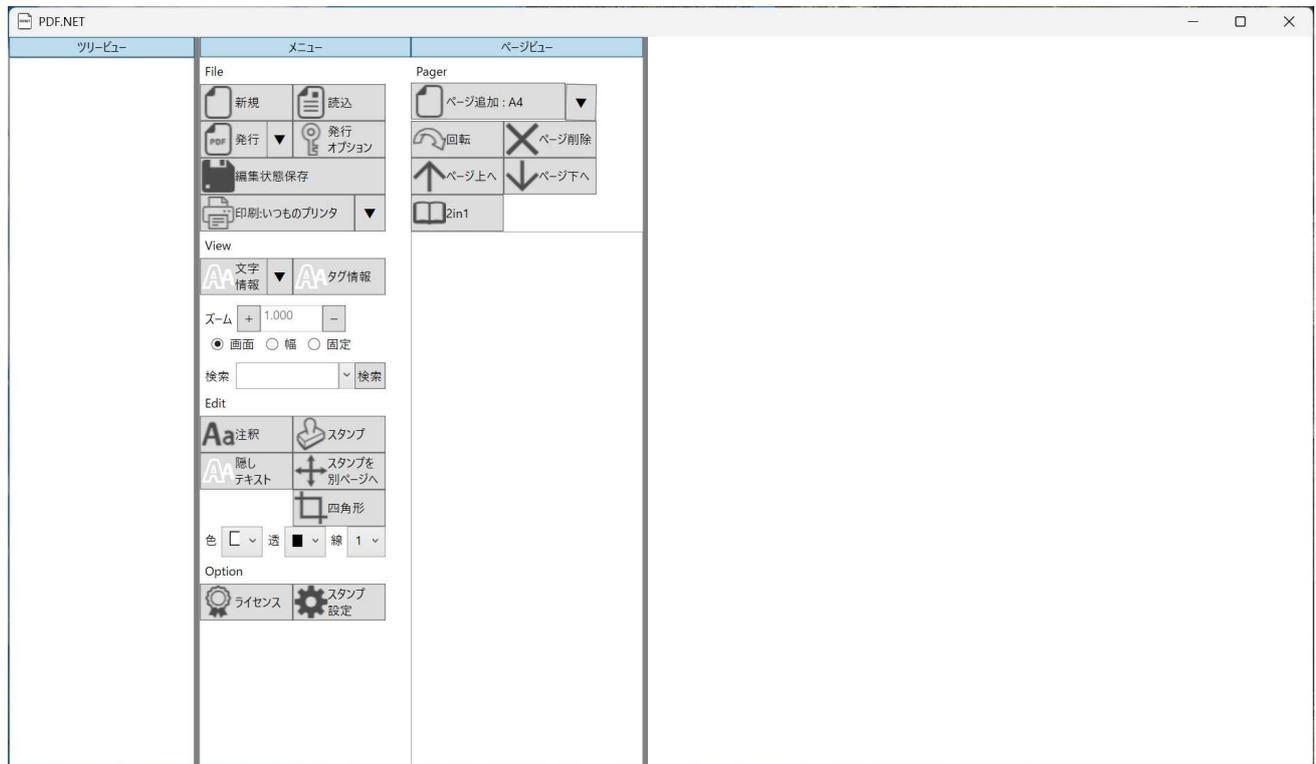


図 1: PDFNET の画面全体

### 1. フォルダツリー(左側)

- 選択したフォルダ内の PDF をツリー形式で表示
  - サブフォルダも自動的に読み込み
  - PDF を選択すると、中央にページ構成、右側にプレビューを表示

### 2. 操作パネル(中央左)

主な機能は以下の通りです。

- =ファイル=
  - 新規(変更破棄)
  - ファイルから追加
  - 発行 別名で保存/上書き保存/全文字情報を削除(画像化)
  - 発行オプション (パスワード保護/権限付与)
  - 編集状態を保存
  - 印刷(プレビュー/通常使うプリンタ/プリンタ選択)
- =ページ編集=
  - 空白ページ追加
  - 2in1

90 度回転

選択ページ削除

選択ページ上へ

選択ページ下へ

注釈

スタンプ

スタンプを別ページへ

四角形

○ =設定=

ライセンス

スタンプ設定

○ =拡張機能=

隠しテキスト編集

テキスト情報

○ PDF 構成(中央右)

ページ選択、入れ替え、削除機能を提供

○ PDF プレビュー(右側)

ページ編集機能を提供

タッチパネル操作(ピンチイン／アウトのズーム調整、スワイプによるスクロール)に対応

## 基本操作

### 1. ファイル

- 新規  
現在の編集を破棄、読み込みをクリアする
- ファイルを開く  
デスクトップの PDFNET ショートカット、ドロップターゲット、またはメインウィンドウにファイルをドラッグ & ドロップ  
※ドロップターゲットはフリー版はデスクトップ下部中央に固定配置され、ライセンス版では移動可能 PDF はフォルダツリーから選択可能
- 取り扱い可能なファイル形式  
PDF  
PDFNET (編集途中のファイル、有償版のみ生成)  
bmp png jpg tif の各画像ファイル (PDF へ変換して開く)
  - ファイルを開くとそのファイルの所属しているフォルダツリー、PDF のページ構成とプレビューが表示されます。
- 編集状態を保存 (有償版のみ)  
拡張子 **.PDFNET** のファイルとして編集状態を保存できる  
PDFNET ファイルをダブルクリックでアプリが起動できる

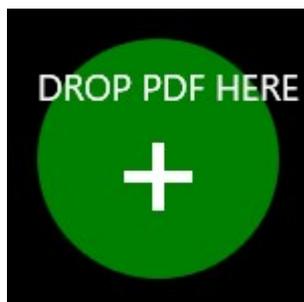


図 2: ドロップターゲット

- 印刷  
通常使うプリンタ、リストのプリンタを選択して全ページ印刷  
または印刷プレビューからページ・プリンタ・部数を指定
- ### 2. ページ構成の編集
- 空白ページの追加  
任意の定型サイズの空白ページを追加します。

- 2in1 (有償版のみ)  
2ページを大きな1ページへ集約します。(A4 縦+A4 縦=A3 横)  
この際アノテーションは全て焼き付けられます
- 90度回転
  1. 回転したいページを選択
  2. 「90度回転」ボタンを押すたびに右回りに回転
- ページの削除
  1. 削除したいページを選択
  2. 「選択ページ削除」または Delete キーで削除
- ページの入れ替え  
「選択ページ上へ」「選択ページ下へ」で移動(複数のページを一度に選択できます)
- PDF の結合  
PDF を開いた状態で「ファイルから追加」  
または PDF を画面にドロップすると結合されます
- PDF 発行  
編集内容を PDF に焼き付けて出力、ページ編集内容は変更できなくなります  
「全文字情報を削除(画像化)」の有無を選択可能

### 3. アノテーション編集

- 注釈  
フォント、サイズ、色を指定して文字を書き込み  
PDF へ焼き付けるまでは移動・再編集・削除が可能  
注釈へタグ名称を付与し、焼き付け後正確にテキストを抽出できます(有償版のみ)

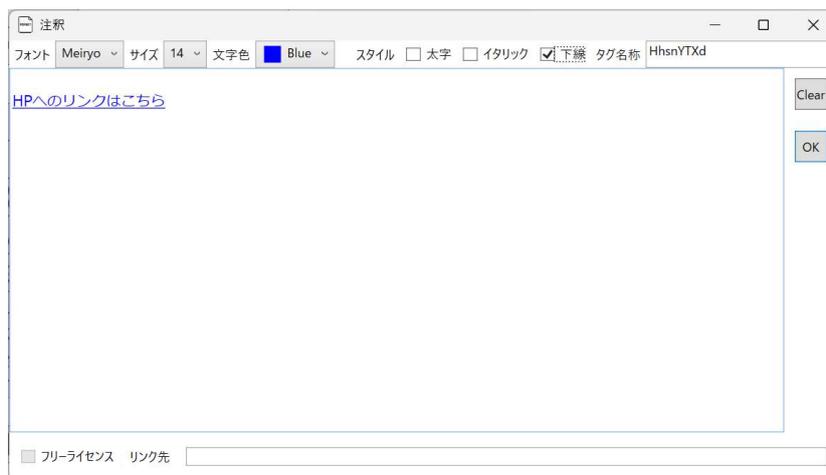


図 3: 注釈編集画面

- 四角形

枠線、塗りつぶし、色、透過度を指定して描画

焼き付け前は移動・削除が可能

- スタンプ

スタンプ設定で登録した画像を押印

スタンプ設定せずにクリップボードの画像をスタンプとして使用可能

焼き付け前は移動・削除が可能

- スタンプを別ページへ(有償版のみ)

編集中的のアノテーションを別ページへ一括移動

ベースの PDF を更新した時、注釈の差し替えがスムーズ

固定的な注釈を施すテンプレートをあらかじめ用意して作業を効率化

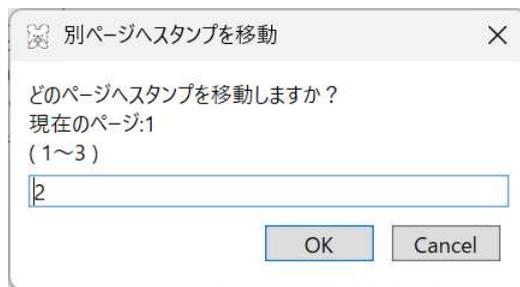


図 4:スタンプを別ページへ

- 編集モードはプレビュー画面を右クリックすると解除できます
- アノテーションを右クリックすると、前面、背面への重なり順を指定できます

#### 4. 拡張機能(有償版のみ)

- 隠しテキスト編集

検索性テキストを埋め込む機能

画像のみの PDF の検索性を高めたい場合に有効

- 文字情報

- 選択したページ内のテキスト情報を表示します
- 全てのページのタグをマトリクスで表示します

## 設定

### 1. ライセンス認証

License Key を入力し「Regist」を押すとライセンス認証が完了

認証後、有償版機能が有効化されます

「Clear」でライセンスを解除（認証した PC でのみ可能）

解除後のライセンスキーは別 PC で再利用できます



図 5: ライセンス認証画面

### 2. スタンプ設定

bmp / png / jpg / gif / emf / wmf をウィンドウにドロップして登録

出力サイズは標準のサイズから選択する他、pt(0.4mm)単位で指定可能



図 6 スタンプ設定画面

### 3.

## オープンソースコンポーネントについて

PDFNET の内部処理(PDF の画像化・ページ操作・埋め込み処理など)は、オープンソースの PDFNetworker (AGPL) によって実行されています。

PDFNetworker は PDFNET とは プロセス分離されており、PDFNET に組み込まれたりリンクされたりすることはありません。

そのため、PDFNetworker の AGPL ライセンスは PDFNET には適用されません。

PDFNetworker のソースコードは GitHub で公開されています。

内部処理の透明性を確保するため、どなたでも参照できます。

GitHub:

<https://github.com/ourssoft/PDFNetworker>

## ライセンス・著作権

PDFNET は OURSSOFT によって開発・配布されています。

## 更新履歴

- **1.0.0.0** 初版リリース
- 1.0.0.1 機能付与 ( 発行オプション タグ機能 )
- 1.0.0.2 機能付与 ( 検索文字ハイライト )
- 1.0.0.3 配布をフレームワーク依存へ変更
- 1.0.0.4 機能付与 ( 一時スタンプ ) 画像形式に EMF/WMF を追加